

持 続 可 能 性

劇場がサステナビリティを考える

～ 環境に優しい舞台芸術

～イギリス「シアター・グリーン・ブック」を学ぶ～



「サステナビリティ」、日本語では「持続可能性」。将来にわたって環境がその多様性や生産性を持ち続け、その中で私たちの社会がその機能を継続していくことのできるシステムやプロセスのこと。いま社会が取り組むべき大きな課題です。舞台芸術に関わる者も、社会の一員として例外でいることはできません。

本講座では、イギリスの先進事例である「シアター・グリーン・ブック」とその実践について講師へのインタビュー（事前収録）を通じて学び、それを基点に「舞台芸術がサステナビリティに取り組むということ」と題し、ディスカッションをおこないます。

舞台技術者をはじめとする、すべての舞台芸術に携わる方とともに、舞台芸術と環境を考える場をつくります。さあ、ここから、始めましょう。

「シアター・グリーン・ブック」とは？

イギリスにおいて、幅広い舞台芸術関係者の議論によってまとめられ、2021年に発表された、劇場／舞台業界における環境配慮の取り組みについてのガイドブックです。

内容は、1、「持続可能な作品製作」 2、「持続可能な劇場」 3、「持続可能な劇場運営」からなり、その達成目標の度合いにより3段階のステージを設定し、指針と具体的な手順が示されています。イギリスではロイヤルナショナルシアターをはじめとして、このガイドブックに沿ってクリエイションを進める取り組みがすでに始まっています。

イギリス版は、下記URLで閲覧およびダウンロードできます。

<https://theatregreenbook.com>

概要日本語版は、下記URLで閲覧およびダウンロードできます。

<https://theatregreenbook.com/japanese/>

日 程

2023年3月15日(水) 14:00 – 17:30

会 場

KAAT 神奈川芸術劇場 〈ホール〉

対 象

- ・ 舞台芸術・劇場に携わるすべての方
- ・ 舞台芸術と環境の関わりに関心のある方

申込方法は裏面へ ▶

講師

パディ・ディロン
([シアター・グリーン・ブック]コーディネーター、劇場建築家、作家)

ロベルタ・モック
(ロンドン大学ロイヤル・ホロウェイ校教授)

ファシリテーター

大島広子(舞台美術家)
堀内真人(KAAT神奈川芸術劇場)

***パディ・ディロン**

この「シアター・グリーン・ブック」プロジェクトの中心人物。劇場建築家として、ロイヤルナショナルシアターの改修にも関わっている。

***ロベルタ・モック**

アーツカウンシル・イングランドなどによる、舞台芸術におけるサステナビリティの取り組みについての調査研究の主任研究員を務めている。

***大島広子**

2022年9月に、日本で初めての「シアター・グリーン・ブック」に関する勉強会を企画開催。現在、イギリス ランカスター大学応用演劇修士課程に留学し、社会と演劇の関係を学んでいる。

参加費

無料

定員

100名(先着順・要事前申込)

申込方法

2023年2月6日(月)から申込開始いたします。

以下のURLの申込フォームから必要事項をご入力の上、お申込みください。

<https://krs.bz/kanagawaaf/m?f=1124>

※ご応募の際の個人情報は本事業に限り使用させていただきます。

「シアター・グリーン・ブック」の内容や実践について、ご質問のある方は申込フォームにご記載ください。講師への事前インタビューの際に、活用させていただきます。



締切

2023年3月12日(日)

お問い合わせ

KAAT神奈川芸術劇場 舞台技術課 info@kaat.jp

<https://www.kaat.jp>

*新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン

KAAT神奈川芸術劇場では新型コロナウイルス感染症対策を行い主催事業を実施します。ご来場前に、劇場HPの「ご来場のお客様へのお願い」をご確認ください。



【主催・企画制作】 KAAT神奈川芸術劇場

【協力】 演出空間等運用基準協議会、公共劇場舞台技術者連絡会、劇場音楽堂等連絡協議会

【助成】



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

